

栃木県塩谷郡氏家町上阿久津方言の待遇表現

新井 小枝子

I. はじめに

(1) 調査対象地：氏家町は栃木県のおよそ中央部に位置し、東は那須郡南那須町および喜連川町、西は鬼怒川を挟んで河内郡上河内村および河内町、北は荒川を挟んで矢板市および塩谷町、南は高根沢町と接している。県庁所在地宇都宮市からおよそ20kmほど北にあり、関東平野の北限に位置する。上阿久津は氏家町の南にあり、集落の真ん中を国道4号線が縦断しており、定期運行バスが1日に10本ほど走っている。

JRの駅まではおよそ3.5km。主な産業は農業であるが専業農家は少ない。

(2) 調査年月日：予備調査 1997年4月16日(水) 午後1時00分～午後3時00分

本調査 1997年4月23日(水) 午後1時00分～午後3時00分

(3) 話者：予備調査 石岡光男氏 大正15年1月30日生まれ (72歳)

本調査 小森セイさん 大正14年7月10日生まれ (73歳)

中村イネさん 大正10年2月10日生まれ (77歳)

石岡光男氏 大正15年1月30日生まれ (72歳)

調査の際には、氏家町出身の砂岡礼子さん(昭和44年生まれ)も同席し、ご協力いただいた。記して感謝申し上げる。なお、今回の報告では、本調査の結果を中心に記述する。

(4) 調査者・調査場所：新井小枝子

予備調査：ミュージアム氏家、本調査：与作稻荷神社社務所

(5) 調査方法：統一調査票による質問調査を主とした。

(6) 表記方法・その他：①複数回答があったものは、回答順に／で区切って記述する。それぞれの回答に関する注記はその後に記述する。②該当する言い方がない場合には、項目の後に×で記述する。③氏家町は無型アクセントの地域であるため、アクセント表記は行わない。なお、特に文末が上昇する場合には文表現の末尾に↑を付す。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

(1) A お前は オメー

元気かね ゲンキカヤー

B あなたは バーチャン

元気かね ゲンキゲー↑

C あなたは オジヤン／ジーチャン

元気かね ゲンキゲー↑

(2) A あしたは家に居るか アシタ イッケー

B あしたは家に居るか オバチャン アシタ ウチニ イッケー↑

C あしたは家に居られますか オジヤン アシタ ウチニ イッカイ／イル↑

(3) A あした行くか アシタ イグゲー↑

B あした行きますか オバチャン イグゲー↑

C あした行きますか オジヤン イグゲー↑

(4) A 温泉に行かないか オメモ イカ°ネガ↑／イカ°ネゲ↑ 予備調査ではオンセン
サ イカ°ネガ。と共通語のニの部分にサが現れた。

B 温泉に行かれませんか オバチャン イッテコネゲー↑

C 温泉に行かれませんか オジヤン イッテコネゲー。↑／ヒマダカラ インベ
ヨ。

(5) A しますか シュルイ↑ 予備調査ではヤンダー／ヤンダイも現れた。

B されますか シュンノ↑／シンダ↑

(6) A 見ましたか ミダゲ↑

B 見ましたか ミタゲ↑

(7) A ゆうべは何時に寝ましたか オジヤン ユンベワ ナーンジニ ネダイ↑／
ネダンダイ↑

B ゆうべは何時に寝ましたか オバチャン ナーンジニ ネダイ↑／ネダンダ
イ↑

C 寝てください ネナヨ／ネテナ 質問項目の意味が不明のため、「自分が誰
かに、そこに寝てください」という場面を想定して回答。予備調査ではネ
デオゴレも現れた。

(8) A どこに行っているか(進行態・問いかけ) ドコ イッテンダヤ 「仕事で
どこに行っているか」と内省。

B どこに行っていますか(進行敬態) オバチャン ドコ イッテンダイ
「仕事でどこに行っているか」と内省。

C どこに行っていますか(進行敬態) オジヤン ドコ イッタンダヤ 「仕
事でどこに行っているか」と内省。

(9) A どうぞ食べてくれ コーレ ウンマイカラ タベテミナヨ／クッテミナ／ク
ッテミロヤ

B どうぞ食べてください オバチャン コーレ ウンマイカラ タベナヨ／タ
ベテミナヨ 予備調査では、ドーゾ ヒトツ タベテミデオゴレも現れた。

- C どうぞ食べてください オジチャン コレ ウンマイカラ クイナヨ/タバ
ナヨ/タバテミナヨ 予備調査では、ドーゾ タベテミテクダサイも現れ
た。
- (10) A その写真を私に見せてくれないか ソノ シャシン ミシテ ミナヨ/ミシ
テクレヤ/ミシテクネゲー/チョット ミシテミナヨー。
- B その写真を私に見せてくださいますか オバチャン ソノ シャシン ミ
シトゴレヨ 「～しておくれ」を用いることによって、Aの相手と対立さ
せている。
- C その写真を私に見せてくださいますか オジヤン ソノ シャシン チョ
ット ミシテミナヨ/ミシトゴレヨ 予備調査では、ミセテクダサイも現
れた。

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう ①アシタ ウチニ エッカナー/イルカー
②アシタ ウチニ エッペ/イダンベ/イッカモシンネ
- B あしたは家に居るだろう オバチャン アシタ ウチニ エッペナー
- C あしたは家に居られるでしょう アシタ エッカナー インジャネガナー
キット
- (12) A 居なかった イネガッター 予備調査では、ルスダッタも現れた。
- B 居なかった アノ オバヤン イネカッター
- C 居なかった アノ オジヤン イネカッター
- (13) A そう言った コンナコト イッテタドー。/コンナコト イッテタキット
オメー ナニ シタンダー。
- B そう言った コンナコト イッテタドー
- (14) A 今そこに行っていた イマ イダヨ/ソコ イッテダヨー
- B 今そこに行っておられた オバチャン イマ ソコ イッテダヨー
- C 今そこに行っておられた オジヤン イマ ソコ イッテダヨー
- (15) A 友達が来ている キテッド/キテンダドー
- B 別の年長の人Aさんが来ている(存在の敬態) オジチャン キテルワ/キ
テット
- C 目上の人Bさんが来ている キテルワ
- (16) A 仕事をしている(進行の敬態) シゴト シテッド/ヤッテッド
- B 仕事をしている シゴト シテッド/ヤッテッド
- (17) A 見せてもらった ミシテ モラッダ
- B 見せてもらった オバヤンニ ミシテ モラッダ

- C 見せてもらった オジヤンニ ミシテ モラッダ
- (18) A 見せてくれた ミシデ クレダ/ミセテ クレダ
 B 見せてくれた ミセテ クレダ
 C 見せてくれた ミセテ クレダ
- (19) A 私にくださった トナリノ オバチャン オレニ クレタンダ
 B 私にくださった オジヤン オレニ クレタンダヨ
- (20) A いただいた オバチャンニ モラッタンダ
 B いただいた オジヤン クレタカラ モラッタンダ

2. 謙讓表現

2-1 謙讓表現

- (21) A 私も オレモ
 B 私も オレモ
 C 私も オレモ
- (22) A 十分に食べました モー ヨーッパラ クッタナー/ヨーッパラ ヨバレタ
 ナー
 B 十分に食べました モー ヨーッパラ クッタナー/ヨバレタナー
- (23) A 持ちましょう モッテヤッカラ ドレ ダシテミナー
 B 持ちましょう モッテヤッカラ ダシナヨー/モッテッテヤルヨー
- (24) A 待たせたね ズーイブン マダシテ ワルガッタネ 謝罪の意を表す語をも
 付与する。
 B お待たせしました オバチャン ワルガッタネ マダシタネ まずは、呼び
 かけと謝罪の意を表す語で表現される。
 C お待たせしました ナガイコト ワルガッタネ マダシチャッテ。イーヤ
 ドーモネー。 予備調査では、イヤー マダシテ スミマセンも現れた。
 謝罪の意味を表す語が増す。
- (25) A 駅で待っているよ テーシャバデ マッテカラ ハヤクコーヨ
 B 駅で待っていますよ オバチャン マッテカンネ/マッテカラー
 C 駅で待っていますよ オジヤン エキデ マッテルヨ
- (26) A 言ってくれ イットゴレー/イットゴレネ
 B 言ってくれ イットゴレー/イットゴレネ
 C 言ってくれ イットゴレー/イットゴレネ
- (27) A これをやろう コレ ヤッカナ。/コレ オメニ ヤッカナ。
 B これをあげましょう オバチャン コレ ヤルヨ/ヤッカラ
 C これをあげましょう オジヤン コレ ヤッカナー

2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった カッテヤッタ/カッテキテヤッター
B 買ってやった カッテヤッタ/カッテキテヤッター
C 買ってやった カッテヤッタ/カッテキテヤッター/カッテヤッタンダー
- (29) A 主人はもう帰っている オラチノ オヤジサン カエッテル/トックニ カ
エッテキテル
B 主人はもう帰っています オラチノ オヤジサン カエッテルヨー/トック
ニ カエッテキテルヨー

3. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イグヨー
B 行きます イグヨー
- (31) A 寒いね サミーネー/ズーイブン サミナヤー
B 今日は寒いね オサム ゴザンスネー
C 今日は寒いですね オサム ゴザンスネー。/センセー サミーネー。
「センセー」という呼びかけによって敬意が増す。
- (32) A 居るよ アー イルヨ。
B 居ます アー イルヨ。
- (33) A よかったねえ イガッタネー/イガッタナヤー
B よかったですねえ バーチャン イガッタネー
C よかったですねえ オジチャン イガッタネー
- (34) A そうか アー ソーゲー/ソーガナー (聞いた内容に関して考え直すときに
用いる)/ソーガ
B そうですか アー ソーゲー オバチャン。/アー ホーゲー。 予備調査
では、ソー デスカも現れた。
C そうですか アー ホーゲー オジチャン 予備調査では、ソーデスカー。
/ソーデギザンスカー。も現れた。

4. 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がって右へ行くと～ ソゴ ミギー マガッテ。/ソノ カド マツ
ガテモラッテ ミギサ イグト。
- (36) とんでもない トンデモネ オレジャーネーヨ

4-2 多人数場面の待遇表現

(37) 世話役を引き受ける時 シャーネー ヤラシデ モラウガ/ヤッテ ヤッペヤー /ヤッペー/ヤッカー 予備調査では、ヤラシテモラワンショーも現れた。

(38) 今度の旅行には参加者が少ないので、皆さん参加してほしい

ニンズガ タンネカラ ナントカ キョーリョクシテ クンネゲー/デテクンネゲー。 予備調査では、コンダノ リョコーニ アツバリガ スクナイガラ ミンサン ツゴーシテ イグヨーニ シテオゴレ。(今度の旅行に集まりが少ないから、皆さん都合して行くようにしておくれ。)となった。

4-3 位相による待遇表現

(39) 1. お寺の住職さん

A 挨拶 オハヨーゴザイマス

B どこへ行くのか ボーサン ドコイグンデスカ

2. 校長先生

A 挨拶 センセー オハヨーゴザイマス

B どこへ行くのか ドーチラマデ イギマスカ

3. 見知らぬ年配の男性

A 挨拶× B どこへ行くのか×(通常、見知らぬ人には声を掛けない。)

4. 見知らぬ年配の女性

A 挨拶× B どこへ行くのか×(通常、見知らぬ人には声を掛けない。)

5. 顔見知りの年上の男性

A 挨拶 オハヨー

B どこへ行くのか オジチャン ドコサ イク°ンダイ。

6. 顔見知りの年上の女性

A 挨拶 オハヨー

B どこへ行くのか ドコ イク°ンダ オバヤン。

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性

A 挨拶× B どこへ行くのか×(通常、見知らぬ人には声を掛けない。)

8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性

A 挨拶× B どこへ行くのか×(通常、見知らぬ人には声を掛けない。)

9. 同級生の男性

A 挨拶 オハヨー

B どこへ行くのか ドコ イグンダイ ミッチャン イマッカラ 名前で呼びかけが入るのが普通。

10. 同級生の女性

- A 挨拶 オハヨー
 B どこへ行くのか ドコサ イグンダイ セイチャン。
11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性
 A 挨拶 オハヨー（通常は、会釈程度。）
 B どこへ行くのか オメー ドコイグンダヤ。
12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性
 A 挨拶 オハヨー（通常は、会釈程度。）
 B どこへ行くのか オメー ドコイグンダヤ。
13. 近所の中学生の男の子
 A 挨拶 オハヨー
 B どこへ行くのか ドコイク[°]ノー。キョーツケテナ。
14. 近所の中学生の女の子
 A 挨拶 オハヨー
 B どこへ行くのか ドコイク[°]ノー。キョーツケテナ。

Ⅲ. まとめ

氏家町上阿久津は、位相差に対する敬語が存在しない無敬語の地域である。調査の途中で、目上の男女に対する使い分けに関して「オトコ オンナ カンケーナイヨネ。（男、女関係ないよね。）」といった発言も見られ、話の相手や話題にのぼった人の位相によってことばの使い分けがなされないのである。しかし、敬意をあらわそうとする想いは強く存在しており、次のような表現によってそれを表している。

- 目上の人や社会的身分が上になる人には、オジチャン・オジヤン、オバチャン・オバヤン、センセーなどを文表現の中に入れて、「呼びかけ」をすることによって敬意を表す。
- 例えば（9）、（10）のように共通語の丁寧形が、最も高い敬意を表す傾向がある。予備調査のデータも参考にしてみると一層顕著である。
- （11）Cに見られるように、「～のではないか」という婉曲的な表現によって敬意を表すことがある。
- （24）では、待たせてしまったことに対し、「待たせた」という部分に言語形式の使い分けは見られず、他の言語形式（この場合は謝罪の意を表す語）によって敬意の度合いを変化させている。

（あらい さえこ 作新学院女子短期大学）